

2021 年度 ビーチバレーボールルール取り扱いについて
〔追加事項〕

6 メディカルアシスタンスプロトコール (MEDICAL ASSISTANCE PROTOCOLS) に
関する事項〔一部追加事項〕

(注)

(中略)

2 選手が負傷/病気になった場合、ラリー終了後すぐに、副審は選手が医療支援を必要とするかどうかを確認する必要がある。

主審はまずチームタイムアウトを許可し、その後、次に問題が解決しない場合にのみ主審がメディカルアシスタンスプロトコールの開始を許可し、医療スタッフ到着後直ちに主審がホイッスルをしてプロトコールを開始する。

(中略)

5 試合(最初のサービス)が開始されていなくても、チームはタイムアウトを取得でき、必要であればメディカルアシスタンスを要求する権利がある。

6 主審は負傷選手の対応をし、副審はスコアラーとコート全体の対応をする。また、プロトコール終了は主審のホイッスルによって通知し、副審は選手が速やかにコートに戻るよう指示する。

7 スコアラーは下記の2つの時間を記録することが重要である。:

(1) 主審がメディカルアシスタンスプロトコール開始のホイッスルをした時間。

(2) 主審がメディカルアシスタンスプロトコール終了(許可された最大5分後、または公式医療スタッフによる治療が完了したと宣言された直後か治療が提供できない場合、または選手がプレーを再開する準備ができていると宣言した場合)のホイッスルをした時間。

8 さまざまな種類の負傷/病気と医療支援

負傷の種類	程度	措置	許可・計時
メディカルタイムアウト(出血をともなう負傷) MTO (Blood)	軽度	一遅延なく治療 一医療支援なし	主審により許可 許可された時点から計時を開始
リカバリーインターフュージョン(RI)	RIT (Traumatic Injury) 外傷性負傷 プレー中に発生した事象のみ 例: 選手が支柱にぶつかる、選手間の衝突など	重度 一最初に、その時点で利用可能な TO または TTO, セット間を使用 一MTO または RIT/最大5分	
	RIT 猛暑等厳しい気象条件による病気 競技委員長が、審判委員長と協議し、公式に厳しい気象条件下であると通知した場合のみ	一最初にその時点で利用可能な TO またはその他の正規の中断を使用 一RIT/最大5分	主審により許可 許可された時点から計時を開始
	RIT トイレの使用 通常の試合中、選手がトイレの使用で遅延した場合のみ	一選手は、ゲームを遅らせない限り、試合中にいつでもトイレを使用する権利がある。 一最初にその時点で利用可能な TO または TTO, セット間を使用 一RIT/最大5分 一選手が戻ったらすぐに試合が再開される。	主審により許可 TO, TTO, セット間の中断中から戻るのが遅れた時点で計時を開始

注: ゲームが遅延されない限り、医療支援はすべての正規およびその他のゲーム中断時に許可される。

8 外部からの妨害 (EXTERNAL INTERFERENCE) に関する事項 (追加事項)

17.2 外部からの妨害 (EXTERNAL INTERFERENCE)

試合中に外部からなんらかの妨害があった場合には、プレーを止めなければならない。ラリーはやり直しとなる。

(注)

- 1 ラリー中、外部からボールが飛んできた場合、コートに向かってきているだけでなく、スコアラーステーブル前やエンドラインとバナーの間のフリーゾーンであっても、外部からの妨害を示唆しているため、選手が反応するしないに関わらず、プレーを止めなければならない。ただし、フリーゾーンへのボールの侵入等があってもラリーを決定づけるプレーの場合に限り、プレーの妨げにならない場合には、ラリーの完了を優先することができる。
- 2 突風等によりパラソルやベンチ周りの物が飛んだりした場合も、選手に危険がおよぶと判断し、外部からの妨害とみなす。

ビーチバレーボールルールの取り扱い【再確認】

コーチングについて【2018】

付録(1) 国内の大会に適用される 特別競技規則 *付則の1 【監督に関する規定】に関すること

(注)

- 1 両審判員は、監督が規定通りに行っているか、また、ラリー中に立ち上がったたり、指示や声援をしたりしていないか、注視しなければならない。
- 2 国民体育大会およびビーチバレー男女ジュニア選手権大会、大学選手権大会の場合は、上記に加えて以下についても確認しなければならない。
 - ① ラリー終了後次のサービス許可のホイッスルまでの間に、立ち上がって指示していないか。
 - ② チームのコートスイッチによりベンチを移動する際、指示することで遅延をしていないか、積極的にコントロールしなければならない。
 - ③ 猛暑の際に給水措置が取られる場合は、ベンチ移動の際に、監督が選手に飲み物を手渡しても良いが、遅延をした場合には遅延の罰則が適用される。
 - ④ 監督がタイムアウトを要求するときに、ハンドシグナルに加えて口頭で要求してもらうよう監督が試合前のサインをする際に、協力を要請する。(口頭だけの要求は許可されない。)
- 3 ベンチ入りしない監督やコーチ等によるコート外からのコーチングが疑わしい場合は、審判員は審判委員長および競技委員長をコートサイドに呼んで報告する。

※この場合の処置はチームに関係なく個人に対してのものであり罰則とはならない。
しかしコーチングを受けたチームに対し審判員は口頭で注意を行う。(これは罰則ではない)